

一般社団法人 全日本建設技術協会

会長 大石久和

印省略

第629回建設技術講習会（災害に強い安全な国土づくり）の開催について

謹啓 時下益々ご清栄のこととお慶び申し上げます。

本会は国土交通省、農林水産省、地方公共団体、機構・公社等に勤務する建設関係職員約6万1千名をもって構成され、建設技術関係者の技術水準及び社会的地位の向上を図るとともに、建設技術関係者の連携・交流を図り、安全・安心で豊かな国土づくりに寄与する施策の円滑な推進と良質な社会資本整備に資することにより、社会の発展と公共の福祉の向上に寄与することを目的とする一般社団法人です。

現在、わが国においては、東日本大震災や平成28年熊本地震等自然災害が頻発しており、防災・減災等における国民の安全・安心の確保はもとより、社会資本の老朽化対策、ストック効果の最大化を図る効率的・効果的な社会資本整備の推進、i-Construction（建設現場の生産性革命）など、時代の要請にこたえた施策の展開を図っていくことが重要となっています。国民生活に関わる幅広い分野を所掌し、現場に強い建設技術者は、技術力や企画・立案、説明力、交渉力、現場力など多様な資質の一層の向上が求められています。

本会の建設技術講習会は、公共事業に係る諸問題解決や実務の習得、最新情報の提供、現場力向上のための現場視察など業務に直接役立つ内容となっております。

このたびの第629回建設技術講習会では、激甚化する気象災害や巨大地震への備え（主な施策等）、災害時における体制の充実強化について（被災情報の集約・共有やTEC-FORCEの活動等）、自然災害（水害・地震・津波・高潮・土砂災害・火山噴火等）に対するハード・ソフト一体となった防災・減災対策の取り組みについて（各地で取り組んでいる自然災害対策の具体の取り組み事例）などの最新の情報を得ることを目的としています。本講習会は、公共事業の効率的かつ円滑な執行に寄与するとともに、職員の技術力等の向上に資するものと考えております。

以上の趣旨を御理解のうえ、本講習会を研修の場として活用され、貴職職員が多数参加されますよう、特段の御配慮をお願い申し上げます。

謹白

地方協会長 殿

一般社団法人 全日本建設技術協会
会長 大石 久 和
印省略

第629回建設技術講習会（災害に強い安全な国土づくり）開催について

本協会事業について、平素よりご協力にあずかり厚くお礼申し上げます。
本協会では、平成28年11月30日(水)～12月2日(金)、高知市において標記講習会を開催いたします。
この講習会では、激甚化する気象災害や巨大地震への備え（主な施策等）、災害時における体制の充実強化について（被災情報の集約・共有やTEC-FORCEの活動等）、自然災害（水害・地震・津波・高潮・土砂災害・火山噴火等）に対するハード・ソフト一体となった防災・減災対策の取り組みについて（各地で取り組んでいる自然災害対策の具体的な取り組み事例）などについて学ぶことを目的としています。
なお、本講習会は高知県・高知市の共催(予定)、国土交通省の後援のもと実施することとしています。

①会場及び日程：別紙日程表のとおり

②聴講料：

| 一般（非会員） | | 会員 | |
|-----------------|---------|----------------------|---------|
| 一般（非会員）（下記以外の者） | 18,400円 | — | — |
| 高知県内の国・県に勤務 | 13,400円 | 正会員、特別会員、賛助会員 | 13,400円 |
| 高知県内の市町村に勤務 | 2,000円 | 30歳未満〔全国の正会員・特別会員〕 | 2,000円 |
| | | 地元〔高知県内の国・県に勤務、特別会員〕 | |
| 地元学生 | 0円 | 高知県内の市町村に勤務 | 0円 |

※聴講のみの参加は可能です ※昼食の斡旋はありません
※30歳未満〔全国〕及び地元〔高知県内の国・県に勤務、特別会員〕は
割引価格のため、取り消しはできません
※一般/会員の確認をしますので、申込み区分を間違えないようにして下さい

③現場研修料：7,200円〔うち昼食代1,200円〕
※現場研修のみの参加はできません

④申込方法：申込書に必要事項を記入し、申込金〔銀行振込の控え〕を添えて期限までにメール又は郵送にて全建事務局までお申込み下さい。
※会場でのお支払い等のご遠慮願います。

⑤申込書送付先：(一社)全日本建設技術協会 事業課 Mail: kensyu@zenken.com
〒107-0052 東京都港区赤坂3-21-13 ヒューリック赤坂ビル7F
TEL: 03-3585-4546 FAX: 03-3586-6640

⑥振込銀行口座：三菱東京UFJ銀行 赤坂見附支店 普通 0311142
口座名義：シャ)ゼンニホンケンセツギジュツキョウカイ
※必ず、お振込人名義(協会名)の前に、開催回数「629」をつけ加えて下さい。
※振込手数料はご負担願います。

⑦申込締切日：平成28年11月11日(金)必着(締切日以降に到着したものは受理できない場合があります)

※申し込みの取り消しについては下記のように処理いたします。講習会終了後に所属協会指定口座へご返金いたします。なお、振込手数料を差し引いた金額をお振込させていただきます。

| | | |
|---|-----------------------|-----------------|
| ① | 平成28年11月18日(金)までの取り消し | 聴講料、現場研修料の全額を返金 |
| ② | 平成28年11月25日(金)までの取り消し | 聴講料、現場研修料の半額を返金 |
| | 上記②を過ぎてからの取り消し | 返金できません |

※テキスト及び聴講料・現場研修料の領収書は当日受付にて、受講証は講義終了後にお渡しいたします。
※事故防止のため自家用車での参加はご遠慮願います。特に、現場研修時は一切お断りいたします。

本講習会は、本会実施の「全建CPD(継続教育)制度」の認定講習会として単位が取得できます。
講習会情報については、全建ホームページもご覧下さい。 <http://www.zenken.com/>

第629回建設技術講習会(災害に強い安全な国土づくり)日程 ～自然災害対策について最新の施策及び取り組み事例を学ぶ～

- ・激甚化する気象災害や巨大地震への備え(主な施策等)
- ・災害時における体制の充実強化について(被災情報の集約・共有やTEC-FORCEの活動等)
- ・自然災害(水害・地震・津波・高潮・土砂災害・火山噴火等)に対するハード・ソフト一体となった防災・減災対策の取り組みについて(各地で取り組んでいる自然災害対策の具体的な取り組み事例)

会場 …… 高知県立県民文化ホール(グリーンホール)
〒780-0870 高知市本町4-3-30 TEL088-824-5321(代)



| (1日目) 開場11:40 | 平成28年11月30日(水) | (敬称略) |
|---|---------------------------------------|---|
| 12:40 } あいさつ 13:00 | 高知県知事 高知市長 (一社)全日本建設技術協会 専務理事 | 尾崎 正直 岡崎 誠也 中嶋 章雅 |
| 13:00 } 【全建創立70周年記念 基調講演】 自然災害に強い安全な国土づくりのために 14:30 | (一財)砂防・地すべり技術センター 研究顧問 | 池谷 浩 |
| 14:40 } 激甚化する災害への備えについて 15:30 | 国土交通省水管理・国土保全局河川計画課 河川技術調整官 | 奥田 晃久 |
| 15:40 } 平成28年熊本地震の被害と復旧・復興に向けて 16:30 | 国土交通省水管理・国土保全局防災課 災害対策室 防災企画官 | 田中 克直 |
| 16:40 } 【地域事業の紹介①】 高知港の地震津波防護対策(三重防護)について 17:10 | 国土交通省四国地方整備局 高知港湾・空港整備事務所 所長 | 針谷 雅幸 |
| 17:10 } 【地域事業の紹介②】 日下川床上浸水対策事業の取り組みについて 17:40 | 高知県土木部中央西土木事務所河港建設課 チーフ(床上浸水対策担当) | 森田 守 |
| 「参加者同士の交流会・講師との意見交換会」 <希望者のみ> (18:30~20:00(予定)) | | ザ・クラウンパレス新阪急高知 3階「欄の間」 TEL088-873-1111 |
| (2日目) 開場 9:00 | 12月1日(木) | (敬称略) |
| 9:40 } 危機管理に備えた体制の充実強化について 10:40 } ~国土交通省の自然災害への対応~ | 国土交通省水管理・国土保全局防災課 災害対策室 防災企画官 | 田中 克直 |
| 10:50 } 関東・東北豪雨における被害と対応について 11:50 | 国土交通省関東地方整備局河川部 水理水文分析官 | 堤 盛良 |
| 13:00 } 切迫する巨大地震への対応について 14:00 } ~南海トラフ地震、首都直下型地震への対応~ | 国土交通省水管理・国土保全局防災課 大規模地震対策推進室 室長 | 東出 成記 |
| 14:10 } 大規模土砂災害に対するハード・ソフト一体と 15:10 } なった防災・減災対策について | 国土交通省水管理・国土保全局砂防部 砂防計画課地震・火山砂防室 室長 | 長井 隆幸 |
| 15:20 } 南海トラフ地震に備えた取り組みについて 16:20 | 高知県危機管理部南海トラフ地震対策課 課長 | 窪田 佳史 |
| 16:20 } 閉会のあいさつ | 高知県建設技術協会 会長 (高知県土木部副部長) | 本田 賢児 |
| (3日目) 集合 8:00~ | 12月2日(金) 【現場研修】 | |

はりまや橋観光バスターミナル(8:30)出発

- 直轄高知海岸 新居工区 堤防耐震・液状化対策事業 [H27年度全建賞] (下車説明)
- 浦戸大橋の地震対策事業 (下車説明) → 昼食(高知市桂浜) → 介良川地震高潮対策事業 (下車説明)
- 南国市津波避難タワー (下車説明) → 高知空港(15:10) / JR高知駅(15:50) 着後解散

※解散時刻は道路混雑等の交通事情により多少超過する場合がありますので予めご了承ください。
※講習会日程・現場研修は都合により、講師・講義内容・現場研修コースなどに変更が生じる場合があります。

第629回建設技術講習会 現場研修事業の概要

1. 直轄高知海岸 新居工区 堤防耐震・液状化対策事業 [H27年度全建賞] …………… 土佐市新居

四国地方では南海トラフを震源とする巨大地震が、今後30年以内に約70%の確率で発生すると言われております。そこで、地震及び地震後の津波に対して、海岸堤防としての機能を十分果たすことができない直轄高知海岸新居工区の地震・津波対策を実施しました。新居工区は仁淀川河口の西側に位置し、昭和40年代に整備された海岸堤防は、その後修築・改築を繰り返し現在に至っています。本工区では、海岸浸食が進行していること、海岸堤防背後には県道と住宅が密集しており、海岸堤防の前だしや引堤といった海岸堤防法線の変更は不可能であることなどから、現位置で既存海岸堤防の高潮機能を保持しつつ改築可能な地震・津波対策工法とする必要がありました。そのため、背後地の状況や堤防の形状により二重矢板工法と鋼管矢板工法の2種類で施工することとし、特に、二重矢板区間ではパラペット構造とせず、海岸堤防天端をフラットにすることで海岸線の眺望を確保しました。また、仁淀川右岸堤防と連続して整備したことで、散策路として利便性を向上させることとしました。



海岸堤防の整備完了後、背後地に土佐市の新居地区観光交流施設「南風」や津波避難タワーが整備され、地域の交流人口の増加、イベントの開催、海岸利用者の津波安全度の向上等が図られています。今後は、戸原工区、長浜工区、南国工区の地震・津波対策を早急に完成させるとともに、海岸浸食の進行を食い止めるため突堤や離岸堤などの沖合施設と養浜による高潮・高波対策を進め、地域住民のさらなる安全・安心の確保を行っていくこととしています。新居工区の整備は、平成24年度から着手し、平成26年度に完成しました。

なお、南海トラフを震源とする地震に備え、地震後の津波に対して海岸堤防としての機能を果たせるよう、海岸堤防の耐震・液状化対策を行い、海岸浸食の状況や後背地の土地利用状況など制約条件の多いなか、海岸利用状況に配慮するなど工法を工夫した点が評価され、平成27年度全建賞を受賞しました。

(視察キーワード：南海トラフ地震、ストック効果等)

2. 浦戸大橋の地震対策事業

…………… 高知市浦戸～種崎

浦戸大橋は、全長1,480m、高さ50m、車道幅6.5m、歩道幅0.75m×2の5径間連続箱桁であり、1972年7月に完成しました。浦戸大橋ができるまでは、県営渡船により、種崎一桂浜間が結ばれていましたが、制限を受ける大型車等は高知市内を迂回するしかありませんでした。また、建設当時、橋の下を大型フェリーが通行していたため、海面から50mもの高さとなっています。架橋から約40年以上経ち、来たる南海トラフ地震の際には、落橋等の甚大な被害が懸念されています。現在、鋭意、橋げたや橋脚の耐震補強を実施しています。



(視察キーワード：南海トラフ地震等)

3. 介良川地震高潮対策事業

高知県は約8割が急峻な山地で、山から海までの距離が短い
ため、降雨になれば急流となって一気に海に流れ注ぐ地形的特
徴があります。また台風の経路上にあるため全国的にも有数の
多雨地帯で気象条件は非常に厳しく、また一方で、高知市など
が位置する下流平野部は地盤標高が極めて低く、河川勾配も緩
やかな地形のため度々浸水被害を被っています。また、南海ト
ラフを震源とする巨大地震が、今後30年以内に70%の確率で発
生するといわれており、その際には、堤防沈下による津波浸水
被害も懸念されています。

このため、高知県では大規模な被害が想定される地域におい
ては、実効性の高い地震・津波対策を優先的に整備する必要が
あります。高知市内を流れる各河川流域が一体となって、地震
に備えた浸水対策等を実施し、水害に強い都市づくりを行うと
ともに、環境を保全するため、豊かな自然、水利用に配慮した
川づくりを進めています。高知市街地を流れる介良川では地震
による津波浸水被害の軽減を図るため、堤防の耐震化を進めて
います。

(視察キーワード：南海トラフ地震)

..... 高知市五台山



4. 南国市津波避難タワー

南海トラフ地震に備え、高知県内においては津波被害が
到来した場合、最悪のケースの場合、土佐清水市と黒潮町
には、最大の34mの津波が押し寄せると推測されています。
また、高知県内の自治体の中には、海岸線への津波最短到
達時間が5分未満というところもあります。このように、
津波に対する対策を講じなければ、県内の想定死者数は
4万2,000人に及ぶとされています。そこで、命を守る対策
として「津波避難タワー」の建設を進めています。高知県
内には115基が計画され、各所で事業を実施しており、2016
年度内にほぼ完成することとなっています。

津波避難タワーは半径300mの住民が逃げ込むことを想
定して計画されています。鉄筋コンクリートで、階段だけ
でなくスロープも設置し、備蓄倉庫やヘリコプターのホバ
リングスペースも確保しています。また、周辺住民には、タ
ワーの建設による目に見える安全な避難場所
ができたことによる「安心」が生まれ、また、その安心をより
確実にするために、自主防災組織として避
難訓練の実施が活発に行われています。

ハードを整備することにより、ソフト面での効果も見られ、
周辺住民の災害に対する意識の向上が諮ら
れています。

(視察キーワード：南海トラフ地震、自主防災等)

..... 南国市前浜



第629回建設技術講習会の宿泊斡旋及び予約申込案内

宿泊斡旋：宿泊希望者には高知市内のホテルを下記のとおり斡旋いたします。

なお、宿泊代金につきましては、ホテルチェックイン時に全額お支払いください。

宿泊予約申込：別紙申込書に必要事項を記入し、全建事務局にお申し込み下さい。

問い合わせ先：西鉄旅行(株) 首都圏営業部 東京支店 TEL:03-6742-0324 FAX:03-6742-0328
〒113-0033 東京都文京区本郷3-10-15 (JFAハウス5階) 「全建担当デスク」迄
申込後の宿泊予約の取り消しや変更については、上記までご連絡下さい。

※取り消しについて

| | | | |
|--------------------|------------|---------------|------------------|
| 宿泊日の前日から起算してさかのぼって | | 当日 (宿泊開始前) | 宿泊開始後及び 無連絡不泊 |
| 4日前まで | 3～1日前 (前日) | | |
| 無料 | 宿泊代金の20% | 宿泊代金の80% | 宿泊代金の100% |

土日祝日及び営業時間外でのキャンセルの場合は、翌営業日での取り扱いとさせていただきます。
取消料に関しましては、ご本人様へご連絡の上、ご請求させていただきます。

斡旋する宿舎名、宿泊料

平成28年11月29日(火)、30日(水)、12月1日(木)

(1泊朝食付、サービス料・消費税含む)

| 宿舎名・所在地・電話番号 | 部屋タイプ | 宿泊人数 | 宿泊代金 |
|---|-------|------|--------|
| 西鉄イン高知はりまや橋 高知市はりまや町1-1-3 Tel.088-875-5454 | シングル | 30名 | 7,820円 |

※禁煙・喫煙の希望を承ります。空室状況により消臭対応となる場合がございます。予めご了承下さい。

※宿舎が決定次第、西鉄旅行(株)より「宿泊案内」が送付されます。

また、朝食不要とすることもできます。詳細は「宿泊案内」をご覧ください。

案内図



一般社団法人 全日本建設技術協会 殿

協会名 _____
(特別・賛助会員名、会社名)

第629回建設技術講習会（災害に強い安全な国土づくり）申込書

<個人情報の取扱いについて>

申込書に記載された個人情報については、参加者が円滑に講習会に参加できるよう連絡等に使用させていただくほか、宿泊機関等の手配及びそれらのサービスの受領手続きに必要な範囲内で利用させていただきます。

| 参加者 | | 勤務先 (所属課名まで記入のこと) | 聴講者別 | | | 現場研修 | 交流会 | 宿泊申込 | | |
|--|----|----------------------|-------------|--------|----------------------|--|--|------------|-----|-----------|
| (フリガナ) 氏名 (女性は番号に○をつけて下さい) | 年齢 | | 一般 (非会員) | 会 員 | 正会員 30 歳未 満 | | | 11月 29日 | 30日 | 12月 1日 |
| 1 | | | | | | | | | | |
| 2 | | | | | | | | | | |
| 3 | | | | | | | | | | |
| 4 | | | | | | | | | | |
| 5 | | | | | | | | | | |
| 6 | | | | | | | | | | |
| 7 | | | | | | | | | | |
| 8 | | | | | | | | | | |
| 9 | | | | | | | | | | |
| 10 | | | | | | | | | | |
| 聴講料 ※一般/会員の確認をします。申込み区分を間違えないようにして下さい。 一般(非会員) 名×18,400円＝ 円 会員(正会員・特別会員・賛助会員) 名×13,400円＝ 円 正会員(30歳未満、地元) 名×2,000円＝ 円 ※正会員(30歳未満)とは、全国の30歳未満の「正会員」 ※正会員(地元)とは、開催県内に勤務する「正会員・特別会員」(賛助会員除く) | | | | | | ↑ 現場研修 の昼食は 不要の申し 出はできま せん※ | 宿泊代金は、ホテルチェックイン時に全額お支払いください。 禁煙・喫煙の希望がある場合には、「○禁」、「○喫」のように記入してください。 | | | |
| 現場研修料 名×7,200円＝ 円 | | | | | | | | | | |
| 計 | | | | | | 円 | | | | |

↓全建に振込

【お申込み時の注意について】

正会員(30歳未満)でお申込みの方は必ず年齢をご記入ください。

【お申込みについて】

必要事項を記入し、申込金[銀行振込の(写)]を添えて期限までになるべくメール又は郵送にてお申込み下さい。

【変更・取り消し・追加方法について】

電話での受付はいたしません。また、正会員(30歳未満、地元)は割引価格のためキャンセルはできません。

本紙に、変更・取り消し・追加箇所がわかるようにご記入いただき、「再送」と明記の上、メール又はFAXをお送り下さい。

取り消しをする際には開催案内に記載しているキャンセル料がかかります。

【聴講時の昼食について】

昼食の斡旋はありません。

【現場研修時の昼食について】

現場研修については行程の都合上、全員の昼食の用意をしますので、不要の申し出はできませんのでご了承下さい。

第629回建設技術講習会に参加の皆様へ！

「参加者同士の交流会・講師との意見交換会」を開催します



(一社)全日本建設技術協会では、「参加者同士の交流会・講師との意見交換会」を実施しています。これは、全国から本会講習会にご参加いただく方々の交流と、講演いただく講師の方にもご参加いただき、質疑応答や交流をはかる場としています。

ぜひ皆様のご参加をお待ちしています。

日時：平成28年11月30日(水) 18:30～20:00(予定)

(第629回建設技術講習会 1日目講義終了後)

場所：ザ・クラウンパレス新阪急高知3階「欄の間」(予定)

※開催場所が変更になる場合がありますので、当日ご確認ください。

会費：2,000円(講習会受付時に徴収)

※参加希望の方は申込書の「交流会」欄に○印を記入して下さい。

※この交流会は会費制です。

※参加される方は必ず名刺を持参して下さい。

※立食パーティ形式でご当地グルメ等を用意しています。

※開催時間に変更が生じることもあります。講習会場でご確認下さい。



【交流会・意見交換会に参加予定の講師】 ※講師の都合により変更になる場合があります。

- ・ (一財)砂防・地すべり技術センター 研究顧問 池谷 浩 講師
- ・ 国土交通省水管理・国土保全局河川計画課 河川技術調整官 奥田 晃久 講師
- ・ 国土交通省水管理・国土保全局防災課災害対策室 防災企画官 田中 克直 講師
- ・ 国土交通省関東地方整備局河川部水理水文分析官 堤 盛良 講師
- ・ 国土交通省四国地方整備局高知港湾・空港整備事務所 所長 針谷 雅幸 講師
- ・ 高知県危機管理部南海トラフ地震対策課 課長 窪田 佳史 講師



1. 講習会の参加者同士の交流促進をはかる
 - ①参加者の知見と人脈を広める(名刺交換)
 - ②意見交換・情報交換
2. 参加者と講師との交流・懇談
 - ①講師との交流
 - ②質疑応答など
3. 地元協会による催し(予定)

※都合により内容に変更が生じることもあります。

<問合せ>



(一社)全日本建設技術協会 事業課 講習会担当

TEL 03-3585-4546 MAIL kensyu@zenken.com